

頑張る4月が続いています

新年度になり、市内の小中学校にお邪魔すると、子どもたちの動きや教室、廊下・下駄箱などの風景に変化が見られました。小学校では、昨年はじっとしていられなかった児童が、真剣な表情で担任の先生を見つめています。中学校では、たくさんの上履きが靴箱に残されたままになっていたのが、今では運動靴が増えています。

個々の子どもたちの思いの全てを理解することはできませんが、見える部分が変わってきているということは、心情にも変化があったのではないかとすることは想像できます。

また、先生方もマスクを外し、表情が見えるようにして、子どもたちに向き合っている様子も増え、子どもたち同様に変化が見られ、「大人も子どもも頑張っているな」と感じられます。例年5月の連休を過ぎた頃に、その頑張るエネルギーが減少してくることもよくあるのですが、今年はその頑張りが続いているように見受けられます。

頑張りが過ぎて調子を崩すことなく、この調子で少しずつ前に行けたら良いなと思いつつ、各学校を訪ねています。

育成指導員連絡協議会総会・運営委員会総会 お世話になりました

～浅口市青少年育成指導員連絡協議会総会～

5月25日(木)に、多くの指導員の方にお越しいただき、総会を開催することができました。写真は中野教育長から委嘱状が交付されているところです。

指導員は市内の中学校・高等学校の生徒指導担当の先生と、中学校の保護者(P.T.A役員)、3地区の地域の方との計20名で構成されています。

主な活動内容は、青パトによる巡回や見守り活動、鴨方駅・金光駅での街頭キャンペーン、浅口花火大会や年末の特別補導活動などになります。

委嘱状の交付の後、総会では昨年度の活動報告と、本年度の活動計画などが示され、了承されました。

なお、会長は山下秀光さん、副会長は小泉清一郎先生、高田直樹先生に決まりました。指導員の任期は2年間ですのでよろしくお願い致します。

～浅口市青少年育成センター運営委員会総会～



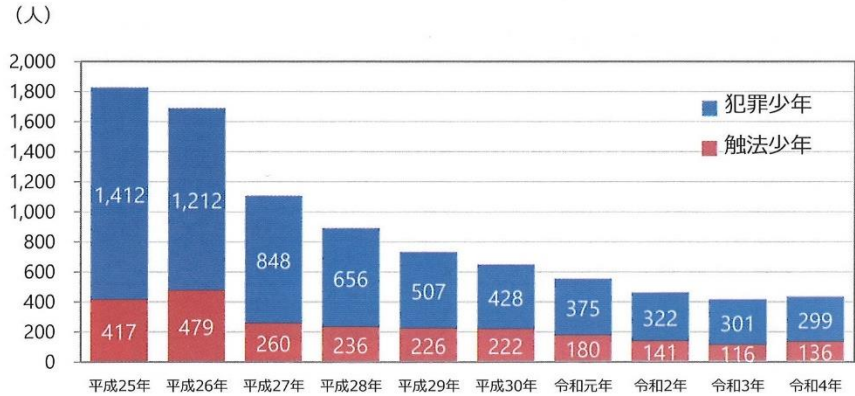
続いて5月30日(火)には運営委員会総会が開催されました。この会は育成センターの業務に関する事項について協議するために設置されており、構成員は、倉敷児童相談所子ども相談課長、玉島警察署生活安全課長、市内小中学校長代表、学校教育課長、少年警察協働員代表、育成センター指導員代表、浅口・里庄P.T.A連合会代表の方々に構成されています。委嘱状の交付の後、総会では昨年度の活動報告と本年度の活動計画が協議されて、了承されました。



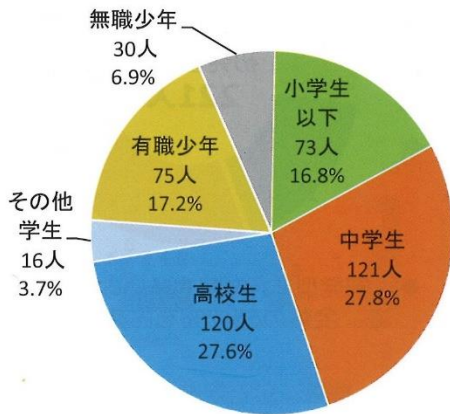
指導員総会と運営委員会において、玉島警察署生活安全課の内海課長から、令和4年中の岡山県の少年非行の現状の説明がありましたので、ポイントのみお知らせします。

刑法犯少年

刑法犯少年は435人(犯罪少年299人、触法少年136人)で、前年と比べて18人増加(+4.3%)しており、特に触法少年が増加傾向にあります。



学職別



(人)

	小学生以下	中学生	高校生	その他学生	有職	無職	合計	前年総数	増減
凶悪犯	0	0	3	1	4	0	8	8	0
粗暴犯	15	34	14	2	30	7	102	97	5
窃盗犯	54	56	68	8	27	18	231	209	22
知能犯	0	0	3	0	2	1	6	8	▲2
風俗犯	1	4	1	1	1	0	8	10	▲2
その他	3	27	31	4	11	4	80	85	▲5
合計	73	121	120	16	75	30	435	417	18
前年総数	60	135	114	14	66	28	417		
増減	13	▲14	6	2	9	2	18		

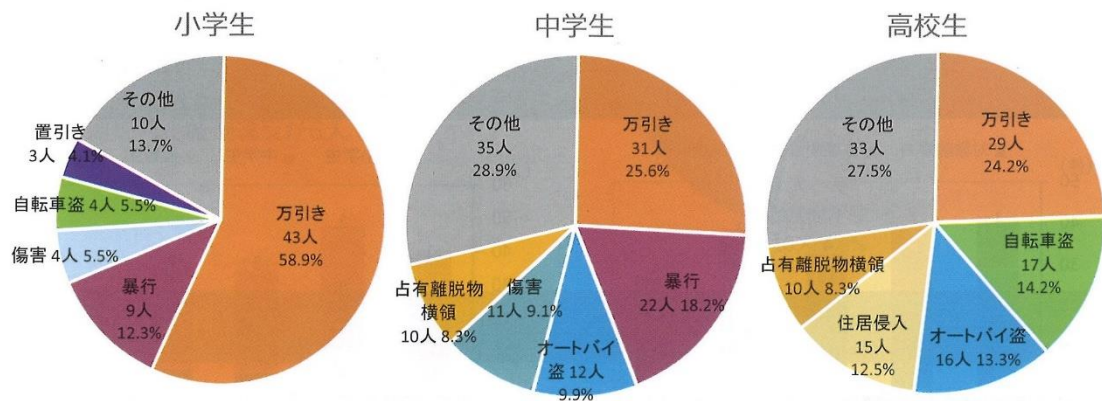
◆ 学職別では、中学生が121人(27.8%)で最も多く、次いで高校生が120人(27.6%)、有職少年が75人(17.2%)となっています。

◆ 前年と比べて、小学生以下は13人増加(+21.7%)、中学生は14人減少(-10.4%)、高校生は6人増加(+5.3%)しています。

◆ 小学生以下のうち、未就学児はいませんでした。



小学生・中学生・高校生で多い刑法犯ワースト5



◆ いずれの学職でも、万引きが最も多く、小学生では、半数以上が万引きで補導されています。

◆ 中学生では、暴行や傷害といった粗暴犯が多く、高校生では、自転車盗や占有離脱物横領が多いのが特徴です。

※ 上記統計資料は岡山県警察発行の「岡山の少年非行 令和4年中」から引用しています。